

みんなで楽しもう!!
オーケストラ・デビューも大歓迎!!

0歳児から 大人まで樂しくなる オーケストラコンサート



11/5 土

上越文化会館 大ホール
開場 13:00 開演 13:30
終演予定時間 15:00

0歳から
入れます

授乳室、
オムツ交換所
設置します

演奏 / 上越交響楽団

コンサートマスター / 三溝 健一
友情出演 / グルボ・カントール

司会 / 大越 さとみ

指揮 / 長谷川 正規



♪ オーケストラのひみつ（楽器や編成のまめ知識）
♪ 目指せ世界のマエストロ（市民指揮者（初体験）が登場します）

曲目 | ビゼー / 歌劇「カルメン」より第1幕への前奏曲
マスネ / タイスの瞑想曲
エルガー / 威風堂々 第1番 その他

全席自由 500円 高校生以下…無料（要整理券）

7/30 土チケット販売開始！

お問い合わせ 上越文化会館 チケット専用ダイヤルTEL.025-522-8800（休館日を除く9:00~17:00）

後援 新潟日報社 / 上越タイムズ社 / 上越よみうり / JCV上越ケーブルビジョン
FM-Jエフエム上越 / 上越市有線放送電話協会 / ジャックランド

プレイガイド 上越文化会館 / 上越市市民プラザ / リージョンプラザ上越 / マルケー旅行センター・エルマール店
アコーレ・サービスカウンター / 多田金レコード / 二葉楽器 / セブン-イレブン（セブンチケット）



平成28年度 文化庁 文化芸術による地域活性化・国際発信推進事業

主催 / 新潟県、上越文化会館、新潟県次世代の舞台芸術担い手育成事業実行委員会



演奏

上越交響楽団

1972年(昭和47年)結成、毎年2回開催している定期演奏会、各方面から依頼演奏や行事への参加を通じて、広く市民に親しまれ愛されています。

現在は指揮者に上越教育大学の長谷川正規氏、コンサートマスターに三溝健一氏を迎え、充実した活動を展開しています。

指揮者

長谷川 正規

東京藝術大学にてチューバを稻川榮一氏に師事。学部在学中に安宅賞を受賞。同大学大学院音楽研究科修士課程修了。

ソリストとして、松尾葉子指揮藝大フィルハーモニア、故岩城宏之指揮オーケストラアンサンブル金沢等と共演。

指揮の機会も多く、上越交響楽団、新潟市・北区フィルハーモニー管弦楽団、上越市民吹奏楽団のほか、ミュージカルやオペラの分野にも活動の幅を広げている。

現在、上越教育大学大学院学校教育研究科准教授。

コンサート マスター

三溝 健一

松本市出身。4歳よりヴァイオリンを始め、片岡世界、正岡紘子、山岡耕筰、天満敦子の各氏及び東京音楽大学にて井上將興氏にヴァイオリン及び室内楽を師事。

肥沼きよ、竹内邦光、丸山嘉夫、松本紀久雄、汐澤安彦の各氏にピアノ・ソルフェージュ・音楽学・指揮法を師事。

現在は「音泉室内合奏団」を主軸に活動展開、編曲も多数手掛けています。

足立シティオーケストラ・松本交響楽団・上越交響楽団・柏崎フィルハーモニー管弦楽団のコンサートマスター(客員)。

○
歳児から大人まで
オーケストラ
コンサート
楽しむ

クラシックコンサートに行ってみたいけれど、敷居が高い、聞き方がわからないなどで、ためらっている方もいるのではないか。そんな方のためのクラシックコンサートです。楽しく、わかりやすく、ご案内致します。憧れのクラシックコンサートデビューをしてみませんか?



0歳児から大人まで楽しめるオーケストラコンサート

〈プログラム〉

◆歌劇「カルメン」より 第1幕への前奏曲（ビゼー）

フランスの作曲家、ビゼーの代表作である歌劇「カルメン」。今回演奏する曲は別名「闘牛士のテーマ」として知られています。歌劇の一番最初に演奏される曲で、とても華やかな曲調です。本コンサートも華やかな出だしを飾ることでしょう。

◆スラブ舞曲集 作品46より第1番（ドヴォルザーク）

チェコの作曲家、ドヴォルザークの作品です。スラブ舞曲集は元々、ピアノ連弾曲として作曲されました。後にドヴォルザーク自身の手によって管弦楽用に編曲されました。オーケストラの仕組みがよくわかる1曲です。

◆タイスの瞑想曲（マスネ）

フランスの作曲家、マスネの作品です。バイオリン1挺でも演奏されることがあります、元々は歌劇「タイス」の間奏曲になります。是非、ソロバイオリンをご堪能ください。

◆トランペット吹きの休日（アンダーソン）

アメリカの作曲家、アンダーソンの作品です。アンダーソンは一般的なクラシック音楽とは異なり、軽快な曲調の作品をたくさん作曲しました。トランペット吹きの休日という題名から想像できないくらい、トランペットが最初から最後まで活躍します。もしかしたら運動会で聞いたことがあるかもしれません。

◆フィンランディア（シベリウス）

フィンランドの作曲家、シベリウスの作品で、彼の代表作と言っても過言ではありません。作曲された当時、フィンランドは帝政ロシアに苦しめられ、独立運動が行われていました。フィンランドの人々はこの曲に鼓舞され、戦いました。それもあって、帝政ロシアがこの曲の演奏禁止令を出した逸話もあります。

(休憩 15分)

◆行進曲「威風堂々」第1番（エルガー）

イギリスの作曲家、エルガーの作品です。威風堂々という題名のごとく、聴くと勇ましい気分にさせてくれます。イギリスでは合唱付版が「第2の国歌」と言われるほど、大変愛されています。

◆ハンガリー舞曲第5番

ドイツの作曲家、ブラームスの作品です。ドヴォルザークのスラブ舞曲集と同じく、元々はピアノ曲として作曲され、後に管弦楽編曲されました。全部で21曲あります。今回は、その中でも有名な第5番を演奏します。

◆上越市民の歌「このふるさとを」

2005年1月、旧上越市と近隣町村が合併し、新しい上越市が誕生しました。それを受けた新しい上越市民の歌として作詞、作曲がされ、2006年12月に市民にお披露目されました。上越市の豊かな自然、風景の様子が、雄大なメロディーにのって演奏されます。是非、皆さんも一緒に歌いましょう。

